

田浦地域における通学に関する意見及び質問

【第1回】令和4年5月26日（木）開催

- 田浦小と長浦小が統合した場合、小学生の遠距離通学となる距離は具体的にどのくらいになるのか教えていただければと思います。
⇒田浦小と長浦小が統合した場合、最長でも3km程度を想定しています。
エリアとしては、港が丘1丁目や田浦泉町、田浦大作町の一番奥から測って3km程度となりますただ、そこ奥の場所には子どもがいないので、エリアとした際の最長は3km程度です。また、エリアによっては、国道16号線まで出てくるのに距離があります。
- 6年生であれば3kmを通学できるのかなと思いますけれども、1年生で3kmの通学は少し心配です。
- 通学距離について、仮に田浦小学校区を分けたとしても、田浦泉町と田浦大作町については、必ず国道に出て通学しますので、3kmという距離は解消できないと考えています。
- 自治会長の皆さんに聞き、統合に関しては反対意見もありますけれども、概ね肯定的な考えです。ただ、田浦小学校区から長浦小に通うのにトンネルを3つ通ります。
トンネルの狭い歩道で自転車が走っている。安全面についてどう考えているのかをお聞きしたいです。
⇒教育環境整備計画は子どもたち教育環境の安全安心のためということでもありますので、計画を推進するにあたり、通学上、危険ということであれば対応しなければならないと考えています。
地域の実情を教えていただきながら、対応していきたいと思っています。

【第2回】令和4年7月13日（水）開催

- 田浦地域から長浦小学校までは、3つの長いトンネルに加え、自動車や自転車等の交通量が多い国道16号線を通らなければならないことです。通学中の子どもへの安全対策をどのようにしていくかが課題になると思います。また、これらのトンネルは大正か昭和の初めにできたと聞いていますので、子どもの通学を考えると、大きな地震に対してどこまで耐えられるかが不安です。
- 通学区域に関し、障害児だけども、学校が近いから自立登校ができるといふ子どもがいます。学校の位置が動くことで、自立登校ができない子どもが出てくる懸念についても考慮しながら、整備計画を進めていかなければいけないと思います。
- 案の良しあしは別として、例えばスクールバスについて、田浦小学校の跡地にバスが入り、そこから長浦小学校に行ける形にするなど、どのようなサポートができるかまでも考えていただく必要があると思いました。
- 学校が統合した先でも、その通学路については長いスパンで見て、整備するのと併せて行っていく、その中で、代替案としてスクールバスなどもやっていくとは思いますが、横須賀市の中で、横須賀を良くする考えを長いスパンで見ていただきたいというところがあり、例えば、その通学路とトンネルを少し広くするなどして、通学路を増やしていけば、中には楽しく通えるお子さんも出てくるのかと思います。小学校を統合するのであれば、そうしたことも並行して整理をしていただきたいという思いがあります。
- 安全・安心の面についてですが、特に国道のトンネルの歩道は大変狭いです。

日常、自治会及び町内会で言われているのは、掃除も含めて、国はほとんど対応してくれないということです。また、この狭い歩道で自転車に乗るか、乗らないかが明確ではありません。警察は、自転車は降りるように言っていますが、こうした人はほとんどおらず、このままの速度で乗って行ってしまうことがあります。大人の場合は、体をかわすなどして自転車を避けられます

が、小中学生はそういかない部分があるので心配です。

その他、歩道上の照度が歩行者基準のものではないことと、近隣地域ではあまり聞きませんが、変質者が出るかもしれないことも、パトロールをしていく中で気になりました。

【第3回】令和4年10月3日（月）開催

- 案1でトンネルの老朽化について触れられていますが、歩道も狭いです。通学専用トンネルを建てる計画はありますか。

⇒現在、通学専用トンネルを建てることは考えていませんが、どの部分にこうしたトンネルを建てたら良いかについてもご意見として頂ければと思います。

トンネルの老朽化に関しましては、国道になりますので、建て替えの予定の有無も含めて状況を確認しています。情報が分かりましたらご報告したいと思います。

- 防災トンネルを兼ねて通学路を作ることはできませんか。

⇒防災トンネルは大規模なものですので、ご意見として伺った上で関係部署に確認することになると思います。実施の可否について、この場でお答えできません。

- 通学距離の長さも問題の一つになっていると思います。葉山町の子どもたちはバス通学をしていると聞きますが、バス通学が田浦地域において現実的なものかどうか教えていただきたいと思います。

⇒現在、市内でもバス若しくは電車で通学している小中学生はいます。

田浦地域にはバス停が2、3カ所あり、バスの本数も1時間に2、3本あるのが現状です。また、学校でバス通学を禁止していませんので、こうした公共交通機関の利用も方策の一つであると考えています。

- 田浦小学校を現地で建て替えることが前提という立場ですが、仮に田浦小学校を廃校し、田浦中学校内に小学校を作るまたは長浦小学校に行くことが決まった場合に、通学距離の問題が出てきます。

検討事項としてトンネルや歩道の危険性が出ていますので、バス通学はやむを得ないと思いますが、そうした場合の交通費について市はどう考えていますか。

⇒バスや電車で通学する小中学生の交通費は、現時点では自費負担となっています。

○ その自費負担は、親世代が関わることとなります。

例えば、田浦地域に住みたいと思って家を建てる方がいらっしゃると思いますが、こうした出費は、日々が少なくてもかさんでくると思います。そうした負担を除くものがない状況で田浦地域に住む選択肢がなくなった場合、地域の存続に関わります。

そうした観点から、小学生は公共交通機関を無料にすることも施策として含めると人口増加につながってくると思います。このような保障が市にはない状況だと感じています。複合的な都市づくりというものを加味していなければ、各学校を統合することの繰り返しになってしまうので、本題からは少し離れますが、人口増加に関する市の施策を伺いたいです。

⇒統合に伴う通学支援に関しまして、横浜市では改築期間中という限定付きでスクールバスの支援を行う例があり、南足柄市ではバスの定期券を現物支給している例があります。

本日頂いたご意見について、確かに大事な議論だと思いますし、実現できるかどうかはこの場では言えませんが、貴重なご意見として持ち帰りたいと思います。

また、通学距離の基準は2km程度となっていますが、実際にはその距離を超える学区や基準を超えて通う家庭もございます。そうした現状で、自費負担しているところと区別するかどうかについてさまざまな考え方がありますので、貴重なご意見として審議会や教育委員会、さらには市にもあげたいと思います。

○ スクールバスについては、ぜひお願いしたいと考えています。

市の施策により通学路が長くなるのであれば、その部分の保障はしていただきたいですし、子どもの安全を考えた場合に、複数ある長いトンネルを小学生に歩かせるという話にはならないと思います。

この状況下で一番現実的な案はスクールバスだと思いますし、定住促進の面も含めて検討していただきたいと思います。

【第4回】令和5年1月31日（火）開催

- 長浦小学校の通学路にトンネルの狭い歩道がありますが、長浦小学校の低学年の女児がそこで転倒して泣きながら帰ってきた事例がありました。

低学年の児童が通うことを考えると、このようなことが考えられます。また、歩道と車道の境のガードレールの構造が、身体との接触時に怪我をしてしまいやすいようなものとなっています。国道のメンテナンスについて細心の注意が必要ではないかと思いました。

- 審議会委員の意見の中に、特定の者への行政サービスと公平性の原則に関するものがありましたが、学校の統廃合は地域住民にとって想定していなかった部分もあるとなれば、この公平性の原則が当てはまるのだろうかと思いますし、逆にこうしたことに対する保障も大事だと思います。

現在、長浦から通う田浦小学校の児童は、自費で通学定期を購入している状況ですが、こうした部分とその条件が違ってくると思いますので、その点は行政で保障していくことが大事だと思います。

ただ、私としてはスクールバスを導入していただきたいと考えます。公共交通機関を使った通学は児童にとって難しい部分があるので、例えば田浦小学校の跡地まで来てもらってからスクールバスで通うという形も考えられますし、スクールバス等で通学路の安全を確保していく必要があると思います。

- 小学校の校庭は、放課後に子どもたちが友達同士で集まって遊ぶことのできる一番大きなスペースとなっていますが、仮に田浦小学校が長浦小学校に編入した場合、スクールバスもしくは公共交通機関の時間の関係上、学校で集まって遊ぶことができなくなる可能性が出てくることについて考えていただきたいと思います。

- 田浦地域の中にはかなり奥深いところもあります。仮に長浦小学校に編入したときに、田浦小学校のときよりも朝早くでなければいけないという方もいらっしゃると思いますが、仮にスクールバス等が出るとなったときに、子どもたちは何時に家を出発すれば良いのかが気になりますし、具体的

にどのぐらいの距離でどのぐらいの時間がかかっているのかを知りたいです。学区内でもかなり遠くから通っている児童もいらっしゃると思います。

⇒田浦小学校区においては最長で約2kmとなります。

- 検討スケジュールにおいて、令和7年度で学校の統廃合の話を決めるのかどうか。もし決めるのであれば、どのようにしたら、交通安全面と防犯面において問題をクリアできるのか、国と県にどのように交渉していくのか等について具体的な話ができると思いますので、ぜひ検討スケジュールについて、もう一度ご説明いただければと思います。